

Symantec NetBackup での ETERNUS VSS Hardware Provider サポートについて

版数 1.5.0 以降の ETERNUS VSS Hardware Provider(以降 ETERNUS VSSHP)を、富士通から購入された Symantec NetBackup 7(以降 NBU 7)のオフホストバックアップ機能と組み合わせてご利用いただく場合は、以下の方針でサポート対応します。

1. サポート方針

- ・ お問い合わせは、富士通 SupportDesk にて受け付け対応させていただきます。対応内容は、情報提供(後述の前提条件および留意事項)と、事例ベースでの問題調査支援です。事例のない問題の調査では、フィールドご担当主導での切り分け実施を依頼する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ ETERNUS VSSHP を使用したバックアップソリューション(運用設計など)の検討は、フィールドご担当で実施いただくことが前提です。システム構築にあたり、フィールドご担当にて、どのようにバックアップするかを十分ご検討いただき、さらに事前検証されることを推奨します。
- ・ 富士通において、NBU 7 と ETERNUS VSSHP を使用したバックアップで動作確認した OS、サーバアプリケーション(ライタソフトウェア)は、後述の前提条件に記載の組み合わせのみです。掲載以外のサーバアプリケーションを使用する場合は、弊社営業に事前にご相談ください。
- ・ 他社から購入された NBU 7 ご利用のお客様は、販売元にお問い合わせください。

2. 前提条件

- 1) ETERNUS VSSHP を利用した NBU 7 のオフホストバックアップには、以下の製品が必要です。
 - ① Symantec NetBackup Server 7
 - ② Symantec NetBackup Standard Client 7
- 2) バックアップサーバと業務サーバの両方に、Windows Server 2008 R2 がインストールされており、さらに、最新の Microsoft Volume Shadow Copy Service(以降 VSS)パッチが適用されている必要があります。
- 3) 富士通において、NBU 7 と ETERNUS VSSHP を使用したバックアップで動作確認し、サポート対象とした OS、サーバアプリケーション(ライタソフトウェア)は、以下のとおりです。
[サーバアプリケーション(ライタソフトウェア)]

①System Writer (NTFS ファイルシステム)

②Oracle 11g R2 (64bit)

③Microsoft Hyper-V 2.0

[バックアップメディアサーバ OS]

Windows Server 2008 R2 以降

[アプリケーションサーバ OS]

Windows Server 2008 R2 以降

- 4) ETERNUS VSSHP を使用して Oracle データベースをバックアップする構成で、NBU 7 がサポート対象とする構成/条件は、以下のとおりです。
- ① Oracle データベースとなる業務サーバは、非クラスタ構成のみ。
 - ② Oracle データベースおよびログは ETERNUS のコピー元領域に配置する。
- 5) ETERNUS VSSHP を使用して Hyper-V 仮想マシンをバックアップする構成で、NBU 7 がサポート対象とする構成/条件は、以下のとおりです。
- ① Hyper-V2.0 のみをサポートする。
 - ② WSFC によるクラスタ構成は、NBU7.0.1 以降でサポートする。

3. 留意事項

- 1) VSSHP の利用に関しては、「VSSHP ユーザーズガイド」の記載事項に従ってください。
- 2) VSSHP をインストール後、diskshadow コマンドによる VSS のスナップショットが正常に動作することを確認してから NetBackup をインストールしてください。
- 3) 業務サーバとバックアップサーバが同一マシンでの構成はサポートしません。
- 4) NetBackup 管理コンソール上からの手動バックアップおよび、スケジュールによるバックアップのみをサポートします。コマンド実行によるバックアップおよびリストアはサポートしません。
- 5) バックアップイメージの保持期間を設定するスケジュールは、アプリケーションバックアップ側の保持期間が有効になります。(サーバアプリケーションが Oracle の場合)

その他、各種マニュアル記載の留意事項、条件に従ってご利用ください。

以上